

2 番 おはようございます。通告2番、2番議員、牧野一仁です。

通告に従いまして、第30回大井よさこいひょうたん祭の運営についてと町長交際費の公開についての2点を質問いたします。

私は、9月に実施されました議会選挙において、議会の改革の促進を町民の皆さんに訴えてまいりました。議会の一番重要な仕事は、行政の監視だと思えます。その一つが、町民から預かった貴重な税金の使い方を監視することではないかというふうに思えます。そこで、今回の貴重な税金を有効利用されているかどうかの視点から質問をしてみたいと思えます。

まず、大井よさこいひょうたん祭の運営について伺います。この大井よさこいひょうたん祭を30年にわたって盛り上げてきていただきました実行委員会、大井商工振興会の皆様への敬意を表するものです。

私はこの大井よさこいひょうたん祭の運営に関して過去2度一般質問をしています。そのときは自治会の参加者が徐々に減少してる、こういう状況で大井町の祭りでもいいのかどうかというお話をいたしました。そのとき町長は、町は大井商工振興会の自主的な開催に対し側面から支援をしており、企画に関しては実行委員会の自主性に任せていると答弁されております。第30回大井よさこいひょうたん祭の目的が実行委員会の開催計画書に記載されております。健康で明るく住みよいまちづくりを目指し、内外友好の交流の輪を広げながら、次世代を担う子どもたちに、ふるさとの意義を育んでいくことを目的とする、また、いまだ東日本大震災の傷跡が癒えない被災地の復興のためにも、今回も継続して復興支援の祭りとして位置付け、優しい心の思いやりを具体化するとともに未病いやしの里センターで開催することにより、未病への関心を高め、また、新たな経済効果を見込んでいくとなっております。また、実行委員会から補助金申請の調査書にも目的が記載されており、そこには大井よさこいひょうたん祭の開催により、地域、住民相互の交流促進を図り、他市町からも人を呼び込むことによって町経済の活性化に寄与するとなっております。このことは、町民、地域住民が主役であり、それが大井町の一体感をつくり、豊かな地域づくりに貢献するということだと思えます。私もよさこいひょうたん祭には、サポート役ですが参加するようになって10年になります。ことし、河原自治会チームの参加については、子どもたちの安全に責任が持てないので参加は見合わすべきだとの反対の意見もありました。昨年まで参加していたある自治会では、同様の理由で参加を取りやめたと聞いております。そこで、多額の補助金を交付して

会場を変更したことの大井よさこいひょうたん祭の運営について伺います。

1、会場を変更したが、町へのメリットはあったか。また、経済効果はどのくらいあったのか。

2、例年より補助金を大幅に増額したが、収支はどうであったか。

3、アンケート調査を実施しましたが、結果をどのように評価してるか。

次に、町長交際費について伺います。

町長交際費は、現在非公開です。大井町議会議長や近隣の自治体では公開されております。中には、逗子市のように市長交際費を廃止したところもあります。情報公開で得た資料によりますと、案内状や領収書がないものもあり、管理が非常にずさんといえます。公費の支出として不十分、不適切であると言わざるを得ません。誰が見ても公平、公正、透明性がある交際費にするためには、今後はホームページ等で常時公開すべきであると思います。

そこで、次の2点について伺います。公開する考えはあるか。

2つ目として、現在支出について基準はあるのか。

以上、2項目を質問いたします。よろしく願いいたします。

それから、先ほど傍聴席のほうから願いがあったんですが、非常に答弁の音が聞きにくいということで、もしボリュームを上げられるのであれば、上げていただきたいのと、皆さん発言時の声に気をつけていただければというふうに思いますので、その辺はよろしく願いいたします。

議 長 答弁は大きい声でお願いいたします。

町 長 通告2番、牧野一仁議員の、第30回大井よさこいひょうたん祭の運営について問うというようなことで3点、町長交際費の公開について問うというようなことで2点頂戴してるわけでございます。

まずは、よさこいひょうたん祭についてお答えをさせていただくわけですが、今年度の大井よさこいひょうたん祭は、第30回という節目を迎えるとともに、あわせて町制施行60周年の年度ということでこれらを記念しての開催としたわけでございます。

開催にあたりましては、会場を役場周辺からブルックスホールディングス大井事業所の敷地に変更させていただいたわけですが、これは今回の祭りを記念の祭りとする。また昨年度、県の未病施策の拠点として選定された「ブルックスホールディングス」を町内外に強く発信する。さらには祭りのマンネリ化を払拭し、これまでと違った祭りとする。

る。そして相和地区の方々にとってより身近な祭りとするといったことを目的とし、主催する「大井よさこいひょうたん祭り実行委員会」において決定したものでございます。

会場の変更につきましては、町からも会場の変更に関し実行委員会に提案するとともに、昨年の9月にブルックスホールディングスから祭りの会場として提供したいとの提案を受けたことから始まりました。実行委員会の中核である大井町商工振興会の役員会での検討の後、今年5月の実行委員会で最終決定をしたところでございます。

1点目の御質問でございますが、会場変更のメリットですが、この会場は今後、県西地域の未病を改善する取り組みの拠点、仮称未病いやしの里センターとなることを考えますと、町内外から大変多くの方に足を運んでいただくことは、大きなPR効果が得られたものと考えるところでございます。

また、今後、この場所で大規模なイベント等を開催する際に、どのような経費がどれほどかかり、どのような点に注意を払うべきか、といったデータがとれたことが大きな収穫であったと考えるところでございます。このデータ等は、この10月30日に同会場で開催した「ME-BYOフェスタ」での、会場内の送迎シャトルバスの調整や誘導員の配置などに活かされ、混乱等を招くことなく無事開催できたなど、そんなことにつながっておるところでございます。

さらに、初めて相和地域で開催したわけでございますが、これまでよりも多くの相和地域の住民の方々には御来場いただいたものでございます。以前から、この祭りは相和地区の住民は関心が低いという話を聞いておったわけでございますが、初めて祭りに来られたという方も多くいらっしゃいまして、この会場でやってもらってよかったと、相和地区における祭りに対する関心度も、高まったものと感じておるところでございます。

次に経済効果でございますが、祭りの出店者に売り上げの状況等を聞き取ったところ約9割の回答がございました。そのほぼ全ての店舗において、前年度よりも売り上げが伸びたとの回答が得られております。また、上大井駅と会場を結ぶシャトルバスの利用者数を見ますと、町外からの来場者がかなりいらっしゃったというような推測もとられるところでございます。祭りや大井町、ブルックスホールディングスについて、町外へのPR効果も高かったんじゃないかなろうかと思われておるところでございます。今後における経済効果も期待できるんじゃないかなろうかと、そんな期待をしてるところでございます。

2点目の御質問でございます。収支総額といたしましては、収入が1,386万円、支出が約1,381万円で、残金5万円ほど次年度に繰り越したものとさせていただきます。

前年度との比較で大きく変化したものとしましては、収入では町からの補助金が380万円増の850万円でございます。議員御指摘のとおりでございます。協賛金が約114万円増の317万円ございました。大井町商工振興会からの収入が25万円増の50万円となったものでございます。特に協賛金に関しては、実行委員会の努力により約50%の増額となったものは、注目すべきであると考えてところでございます。

支出では「会場設備」が約254万円増の約596万円、「送迎用のバス代」が約87万円増の106万円、新たな支出といたしましては「記念大会としての告知PR経費」が約30万円、「打ち上げ花火経費」が約138万円などがあったものでございます。

初めての会場でございましたので検討課題も多く、必要経費の算出も困難なものが多数あったわけでございますが、さらに厳しい財政状況の中、過去の実績をもとに可能な限り支出を抑え、何とか支出超過とならずに終了ができたものでございます。

3つ目のアンケートについてでございますが、祭り終了後、会場を変更したことに対する意見をいただくことを主な目的とし、踊り手と町民を対象に実施をさせていただきました。踊り手は参加チームの代表者46名を対象とし27名から回答をいただき、町民はコンピュータでランダムに抽出した300名を対象とし204名から回答をいただきました。

結果ですが、会場の変更に伴い流し踊りの距離が伸びたこともあり、踊り手からはおおむね好評でした。しかし、ブルックスを会場としたことの評価は低いものでありました。町民からは、「会場が広くて開放的でよい」という意見をいただく一方、「アクセスの悪さ」「シャトルバスの不便さ」を指摘する意見が多数見られたものでございます。その他の意見では「花火がよかったのでこれからも継続してほしい」「役場周辺での開催を望む」という意見も多くあったものでございます。

結果を考察しますと、記念の祭りとしての新たな試みに対しては一定の評価をいただけたものと考えておるところでございます。開催会場につきましては再度検討が必要であるというような認識をもっておるところでございます。

今回の開催につきましては、このアンケート結果をもとに、祭りの目的である「健康で明るく住みよい町づくりをめざした祭」とすることにはどうすべきか、開催会場を始め、祭り全般を対象とし、実行委員会に

において検討していただくというような考えをもっているものでございます。

2点目の町長交際費についての御質問でございますが、町長交際費は地方自治法に規定された歳出区分の一つであり、地方自治体の円滑な行政運営を図ることを目的に、町長が町を代表し、外部の個人または、団体と交際するために要する経費でございます。

町では、その支出にあたっては、円滑な町政運営を確保する上で、必要性を判断基準として、適正な執行に努めておるところでございます。

既に、非公開であるというような御質問でございますが、町ではいわゆる公開をさせていただいておるわけでございます。ぜひ、その中で御判断をさせていただいてるものじゃなかろうかなというように思うわけでございます。

1点目の「公開する意図はあるか」というようなことでございますが、既にそのような状況であるわけでございます。透明性の高い行政運営を図るために、さらに努力していく必要があるんじゃないかなと思います。各自治体においても、ホームページ等を利用した中で、公開してるところもあるわけでございます。町におきましても議長交際費はホームページで既に掲載して支出の区分、支出の日、内容、金額が公表されております。このような状況の中、町としましても、今後、町民の皆様への町政に対する理解と信頼を深めるため、公正で透明な町政運営を進めるため、町長交際費の公表に向けては、取り組みたいと考えております。特にホームページでというようなことでございますので、来年1月分の交際費支出については、2月にその内容を町のホームページに公表し、その後、毎月公表してまいりたいとそんな考えでございます。

2点目の御質問でございますが、「町行政の円滑な執行を図るため、町長等が、町を代表して外部の個人又は団体との交際に要する経費」としてしております。

交際費の支出先としては、個人又は団体で、1 点目の、町の事務事業と直接かつ密接な関係にあるもの、2 町政の振興に寄与した功績があったもの、3 災害、事故等にあったもの、4 その他、特に必要と認めるものに限り支出しておるものでございます。

内容といたしましては、「会費」や「祝い金」、「香料」など10区分の事項について支出できるものとしており、それらの支出額は、社会通念上妥当な範囲で、かつ必要最低限とすることと規定しております。

特に、交際費支出の多くを占めます慶弔費に関しましては、別に「内規」を設け、慶弔に対する贈呈について、対象者の役職や事由別に支出額等を定めて支出しております。

今後とも、適正な交際費の支出により町政の円滑な運営を図るとともに、さらに、その公開により、公正で透明な町政運営に努めてまいりたいと考えておるところでございます。

そのようなことから、さらに公開をしていこうという考え方を持つものでございます。しかしながら、私も町長になって驚いたことは、町長と教育長と議長にしか交際費がないわけございまして、私は少なくとも副町長や当時の収入役、そして所属所管課の長にはあるものと思っておりました。しかしながら、町長交際費は町長部局は全般に宛てがわれた町長交際費ではなかろうかなど、そんな考えを持っておるところでございます。これからも、信頼をされる町政運営のためにも、さらなる公開をしてまいりたいと、そんな考えでございます。

以上でございます。

- 2 番 今の町長の答弁で、アンケート等とった結果、おおむね評価されてるというお話ですが、一番目の、まず、会場変更したことで町へのメリットがあったか、経済効果どうであったかということについて、ちょっとお尋ねしますが、広報おおいには例年来場者数が記載されてるわけですよ。これは主催者発表というようなことでしょうけど、平成25年2万9,000人、26年3万人、27年3万人、ところがことしの広報は28年、大いに盛り上がった祭りになったとだけ記載されてるわけです。なぜ、数字が入らなかったのか、その辺をお伺いいたします。

地域振興課長 特に載せなかった意図というものはございませんで、開催の状況、現地の状況等を、結果といたしましては前年度並み3万人程度というふうに見込んでございまして、特に掲載しなかった理由というのは特にございません。

以上です。

- 2 番 数字を載せられなかった理由はあるのかなというふうの一つは思ってたんですね。それが。その次に、経済効果や何かということに入るとは思うんですが、先ほど実行委員会のほうから、当然収支報告書がきてるわけですね。その中で、事業収入が前年の半分なんですね。予算が170万ほどでしたが、結果は94万2,000円と、約半減してるわけです。前年度は、27年が183万4,290円。26年が182万2,600円。こういう数字から92万円というふうに下がったということは、私は来た人が少なかったんじゃないかなというふう思うんですが、いかがですか。

地域振興課長　こちらにつきましては、事業収入につきましては、主に現地でのビール等の販売の売り上げの状況ということでございまして、とりあえずこちらにつきましては、その収入が減ったという結果になるわけですが、とりあえず売り上げにつきましては、天候とか温度とかによつての左右されるものでございますし、また、今御指摘のとおり（反訳不能）からでは、来場者の減につながるのではないかと御指摘もございしますが、出店者の売り上げ状況からいたしますと、去年よりも大体2割増しぐらいというふうに聞いてございますが、ということから判断いたしますと、増加といたしますか減ってはいないというふうに判断できるかなと思っております。

以上です。

- 2　番　余りこればかり時間とりたくないんですけど、個々のアンケートをとると個々には出店者が売り上げが上がったといいながら、事業収入がこれだけ落ち込んでいるというのは何かおかしくはありませんか。

地域振興課長　まずは売り上げ、各店舗の売り上げにつきましては、これは確実に個々の店舗から非常に、非常にと申しますか売り上げが伸びたということにつきましては、事実でございまして、一方ビール等の売り上げにつきましても、低下した、減ったというのもまたこれは事実でございます。一応ビールの売り上げ、先ほど申しましたように、温度とか気温ですか、その辺の状況によりまして左右されたのかなというふうに判断はしてございます。

以上です。

- 2　番　この件については、また後で触れますけど、次に移させていただきます。時間もありませんので。

まず、会場を変更したということでお伺いいたします。補助金交付申請が、実行委員会から昨年9月18日付で審査会のほうへ出てるわけですね。ところが、未病いやしの里センターというのは県のプレゼンで最優秀賞になったというのはプレス発表が9月3日なんです。9月3日から9月18日の間に、今のような本来の目的を持ってブルックスホールディングスの未病いやしの里センターのPRをしていこうというようなことを細かく計画書の中には出てるんですが、わずか2週間ぐらいでこのぐらいの計画ができるものかということをお尋ねいたします。

地域振興課長　実質、なかなか細かな積み上げというのは非常に難しいというのが実態でございます。今回も新たな場所で開催するということが一つ、それから今までと、とにかく役場周辺の会場とは大きく状況が異なる。また、現地の状況も詳細に把握しきれないということもございまして。といった

ことで、申請時においては申請の期限等もございます。ということで、できる限りの短期間の中で情報を集約し、申請をせざるを得なかったというふうな状況であるという認識してございます。

以上です。

企画財政課長 若干補足をさせていただきます。先ほど牧野議員から9月3日がプレス発表だということがございましたけれども、まさにそのとおりでございますけれども、その数週間前に内示という形で県から報告があったというところで、その旨について補足させていただきます。

以上です。

2 番 今回、会場を移動したことについては、商工振興会、実行委員会からのほうの発案で町が提案し、会場を移行したと、町長の答弁にあったわけですが、その商工振興会が主体となる実行委員会ですが、その辺と事前にやっぱりすり合わせをしとかなければ今のような短期間で、仮に事前の内示が2週間前にあったということであってもできなかったのではないかなというふうに思います。私が会場を実際、参加して午後3時ごろから夜の9時過ぎまでいたわけですけど、なかなかはっきり申しまして、ブルックスホールディングスの協力度が非常に低かったなど、そういうような感触を得てるわけですよ。いろんな人に聞いても商工会の方々に聞いても非常にブルックスの協力度が悪いというような声を随分聞いています。そのようなところで、やっぱりなぜやらなきやならなかったか。話によりますと町長が大分いろいろなところを回られて、お願いして今回会場を借りてったと。商工会の発案というのも町長の発案ではないかというふうに、町ではいろいろ話をしております。その辺いかがですか。

町長 この会場を使ってほしいというのは、確かに私からも商工会にも申し述べさせていただきましたし、ブルックスホールディングスさんもそういうようなことを、去年の夏祭りの終わった段階で、もしあれでしたらうちのほうで、その数年前にもブルックスさんでやったらどうかというような御提案をブルックスさん自体からもいただいたり、商工会関係者の中からどうかというような御意見もあったことは事実でございます。しかしながら、いわゆる、あの広い敷地でございますので、ごみの問題だとか、また、来場者をシャトルバス等、準備しなければならないというようなことで、いろんな角度からその時期も検討までいきませんが、議論したときはあったわけでございます。ブルックスホールディングスさんが、県の未病のいやしのセンターに手を挙げるというのは9月こそに決まっておりましたもので、ブルックスさんも前々から、ぜひうちを



会場にして使っていただいたらどうだろうというようなこともありましたし、そんな中で、町も一つそういうことであれば、そこを会場にというような考え方も持っておりましたし、また、この事業を大きく展開していかなければ町としてもならないわけでございますし、県の重要、県西地域の活性化の重要な拠点となるところでございますので、ここでやっぱりPR活動も重要じゃなかろうかなというような考えをもとにそんな提案をさせていただいたというようなことでございます。実行委員会の中でもいろいろ御議論していただき、初めてのことで大変みんな戸惑われたかもしれませんが、どうやらこうやら、イベントといいますか町のほうは成功裏に終わることができたんじゃないかなというようなように思います。特に、相和地域の方は来ていただいて、ぜひ来年もここでやってほしいというようなことも私のほうに申しつけられた方も多々あったというような状況でございます。しかしながら、何せいわゆる交通手段も何らかの形で確保しなければいけない。また、その整理も多大な労力になったというようなことは実質検証できることじゃなかろうかなと考えております。

以上でございます。

- 2 番 それでは、今の話と最後のアンケートや何かとも絡む形になりますが、アンケートの部分が非常にランダムで300人、それから踊り手からもとったということですが、ランダムで300人ですけど、実際回答は200人ぐらいの回答ですよ。この中で見てみますと、ほとんどが今回の会場については余りよしとしてないわけですよ。それはもう当然見られておわかりと思いますが、アクセスが不便だった、役場のほうがいいよ、というような方。そしてシャトルバスは利用しないで、マイカーで来た人が300人の回答の中では多かったわけですよ。そんなことを考えますと、高齢者や子どもはベビーカーや何かは、引いてる人たちはシャトルバスなんか乗れないわけですよ。そんなところも考えなければならなかったんじゃないかというふうに思います。

そして、もう一つは、出店者側のアンケートもほしかったなというふうには思います。その辺の意見がありませんので、ぜひ今後はそういうところもやっていただきたいと思います。

2番目のほうへ移りますが、大幅にことは補助金がふえたわけですね。そんな中で、事業収益、先ほど申しましたけど、事業収益のほうは話ししました。まず、当然いま、決算書、報告書が課長の手元にあるかと思いますが、東北大震災の復興支援ということで唄ってるわけですね。まずその事業収益の中には、うちわを販売してるわけですよ、皆さ

んから義援金を募るために。幾ら販売できて、幾らの義援金が集まったか、こういうふうな報告ありません。そして、もっといけないのは、この収支報告書の中で義援金がゼロになってるんです。この収支報告書では義援金出さなかったということじゃないですか。いかがですか。

地域振興課長 御指摘のとおり、補助金申請時の予算書につきましては、その義援金の対応、収支につきまして合わせた形で出されております。ただ、今回特に850万円という大きな補助金、町から出ております。ということで、このままその形で予算書を継続すると、町の補助金の中から義援金が出てくるようなそんな印象を持たれてしまうということが、懸念されるということで、この祭り全体の中から義援金に関する収支につきましては別枠で決算化するというふうな対応に途中で変更してございます。ということで、最終的には決算の段階では収支が除いたものというものがお手元にあるということになります。義援金に関する公表がされてないと、読み取れないということでございますので、この場で説明させていただきますと、うちわの売り上げということは義援金に関する収入ということで49万3,500円の収入がございました。そして、歳出につきましては、うちわの制作費として12万6,360円、それからうちわに抽せんがついておりますので、そちらの景品代として12万9,485円。それから、チーム富岡を招待してるということで宿泊費として16万4,000円、それからチーム富岡の接待ということで約1万円。それから、義援金としては最終的に差額ということになりますが、義援金16万4,828円ということでなっております。

そういう経緯で、義援金がなくなったというわけではございません。別枠での会計管理をしたという経緯でございます。

それで、済みません。さかのぼって、先ほど事業収入が非常に減っているという御指摘ございました。そこで、ちょっと補足といいますか、再度回答させていただきたいんですけども、今申しました事業収入の中に前回までは、そのうちわの売り上げ収入を入れておまして、今回は今申しましたようなことから事業収入の中からうちわの売り上げ代を除いたということが大きな事業収入の減、要因であるということになります。

以上でございます。

- 2 番 850万円からの予算を組んで、昨年度その予算承認してるわけですよ、議会で。それで9月に補助金の審査会を経てやってるわけですよ。情報公開でこういう収支決算書などをとった、それから今の審査会の記録もとって、その審査会のときの予算と最後に出てくる収支決算書の予算

額が今お話しされるように違うわけですよ。もっと細かく言いますと、協賛金の予算額は収支決算書ですよ、250万になってるわけですよ。これを去年の9月の時点では200万、多く入るのかなということで途中で変更したんだと思う。繰越金もちょっとこれ数字が違います。14万1,196円というのは、これ昨年を見ると16万8,462円です。小さいですけど。雑収入もちょっと違います。振興会が当初は25万で自分たちで負担しようという形で出てたんだと思うんですが、決算のときは50万になってるわけですよ。実際50万出資されてるわけですけど。それから、支出のほうは、商品代のほうは昨年の計画書の段階では88万円が決算書では予算額として92万円。そして会場設営費も違ってます。雑費も違ってます。事業費も違ってます。予備費も違ってると。それから、60周年の記念代も違ってる。それで、決算の段階での予算と書いてありますのは、合計1,370万円。去年の9月の段階での予算は1,300万円。こういうふうな、途中から変わったというのはいいんですが、予算で議会承認を得てるのに途中から変えてるのは議会の承認を得たんですか。

地域振興課長 議会の承認につきましては、850万円の承認ということで解釈してございます。今、御指摘のとおり、確かに補助金申請時、それと大きく変わっているというのはそのとおりでございます。ただ、先ほどからも申しますように初めての会場であるというふうなこと、それから、不明な点、検討しなければならない点も多くございました。また、結局短期間での補助金申請書を作成するというふうなこともございまして、できる限りの情報を集約し申請したわけでございます。その後、いろいろ相手、ブルックスホールディングスさんとの話し合い、それから現地の調査、それから内容の詳細にわたる検討等行ってまいったわけですが、それによって変更せざるを得ないことも多くございました。ということで大きく変わったということでございますが、ただ、実行委員会としても最終的には事業経費も、予算よりも、総支出ですね。総支出も当初よりも増額となったということでございますが、町に対する補助金の増額要求ということはなく、実行委員を始めとした多数の方々の御努力によりまして協賛金を昨年度比較で約114万円、50%増となどによりまして、みずから不足する財源は確保してございます。また、補助金の使い方、使途に関しましても町としても適切であったと見ておりまして、したがって町の補助金に関しては問題ないというふうに判断しているところでございます。

以上です。

- 2 番 今の課長の答弁で、27年度交付金申請評価シート2は、これは昨年のですけど、当祭りの開催経費として不要なものは見受けられず、適正な支出であったと地域振興課はコメント入れてるわけですよ。恐らく、今のままでいえば同じコメントが入るのではないかなと思いますが、ちょっと、最初に収支決算書を見させていただいたときに、相当苦労されてるなど、つくるのにですよ。残金、次期繰り越しが5万4,924円となっておりますね。例年ですと、十何万円か出てるんですが、ことし何か無理やりつくってるのかなと。それでこの義援金支出を計上すると80万なら80万、ここに入ると完全に赤字なわけですよ。こういった事業を補助金で事業をやって、場所は初めてですから場合によったらこういう赤字になることもあるわけですけど、何か無理やりにこの収支決算書をつくってるのではないかなというふうに思うんですが、これは逆に言いますと、実行委員会をやってらっしゃいます商工会の方々に相当な負担をかけてるのではないかなというふうに憶測されるんですけどいかがですか。

地域振興課長 御指摘の無理やりに押しつけたというふうな話かと思うんですけど、これにつきましては正直な金額でございまして、最終的にこうなると、金額からすれば非常に苦しい状況であったなというふうな推測がされるかなとは思いますが、その陰といたしましては、やはりある予想しなかった、例えば、バスの経費が20万円予想より多かったということが一つあるわけですが、それにつきましては、どこかで努力によって削減しそちらに振りかえてというふうな、そういったことをいろんなところでされた結果でございまして、ということが一つ。

それから、冒頭ございました義援金を入れると赤字になるというふうな御指摘がございましたが、義援金にかかわる歳入歳出につきましては、全く同額でございまして、仮にここに義援金を入れたとしても歳入歳出それぞれに同額がプラスされるわけではございまして、赤字になるということにはございません。

以上です。

- 2 番 はい、わかりました。

こういった計画を例年やって、ことしだけ義援金の部分だけをこの会計から除くというようなことを、こういったことは早目に議会の全協なり何なりで、私は報告すべきではなかったかなというふうに思います。昨年の計画の段階から大きく変わってきてるわけですよ。義援金の原価はこんなにかかっているもんだというふうには、私正直思いませんでしたし、やっぱりこういったことは町民から義援金を募ってるわけですか

ら、明確にこういったこともホームページ等で公表すべきだと思いますよ。ホームページじゃなくても広報でも公表すべきだと思います。

それから、この中に支出のところで会議費があるんですが、この会議費は平成26年の3万9,300円、27年が25万6,600円、28年が1万3,644円と昨年がちょっと一桁違う、大きな数字になってるんですが、これは何なんでしょうか。

地域振興課長     こちらにつきましては、27年度の会議費につきましては、こちらの終わった後の反省会の経費が計上されるということでございます。

以上です。

2 番     反省会、ことしはその隣でやられたようですが、会場を変えてこれだけのことになったのだと思うんですね。町長も御祝儀を持って参加されておりますが、まず、補助金の使い方として飲食を伴うものに補助金を使ってよろしいのでしょうか。お尋ねします。

地域振興課長     それにつきましては、あってはならないというふうに認識しており、この反省会につきましては、その補助金は使われていないということでございます。

以上です。

2 番     まず、領収書が何もついてないんですよ、領収書、報告書に。この、こういった反省会で補助金は使ってないというのを証明するとしたら領収書じゃないんですか。証明できますか。

地域振興課長     済みません、質問が私として理解できないんですが、領収書がつくことによって補助金が使われていないということが証明できるということでしょうか。

2 番     26年、28年も、反省会はやってるようなんですよ。それで、3万とか2万とかっていう数字で、多分飲み物と簡単なものが公的な機関で、例えば、生涯学習センターあたりでやられたんだと思います。ところが、27年だけこれだけ多くなってるのに補助金は使ってないということなんですけど、収支報告書には入ってるわけですよ。この収支報告書の支出には一切領収書がついてない。この今の会議費にも、ついてないわけですよ。だから今課長は補助金はこれには使ってませんという御返事ですけど、じゃあこの反省会の会費をとったとか、領収書がついてると当然どこか場所を変えれば領収書はありますよね。そういったものがあるんじゃないんですか。この25万6,600円の明細はどうなんですか。

地域振興課長     その領収書につきましては、存在するんですが、ここの中には添付されていないということでございまして、もともとは町からの補助金の使い方ということでございますけれども、結局27年度という年度の補助金

は470万円が交付されてございます。それで、まず27年度の総事業費の決算額は歳出は祭りとしては936万円が支出されてございます。

2 番 時間がないので、その回答はいいです。

昨年のは今の話で、ここでないということであれば、私が言いたいのは、これだけの補助金、ことしは850万から使ってるものを、領収書が一つもないというのはおかしいと言ってるんですよ。それとも、850万の領収書はあるんですか。

地域振興課長 直接の領収書というものはないといえますか、それぞれにあてた850万円の使われた経費はさまざまところにあるわけでごさいますて、それを集めればそれが領収書ということにはなりますが、850万円です、と850万円という金額が書かれた領収書が存在するわけではございませんので、そういった回答でよろしいでしょうか。

以上です。

2 番 非常にぼけた回答なんですけど、普通仮に850万じゃなくても町から補助金なり何なり支出すれば、当然報告には領収書、明細をつけて報告しますよね。総額850万、私は言ってるわけですから、その中で会場設営費だ、今言う会議費だ何だという項目がありますよ。それに領収書が一つもついてないと。情報公開条例に、大井町の情報公開条例では、領収書等も公開することになってるんですよ。だから、逆に言うと、実行委員会から町へのこういう収支報告書が出てても、無条件承認していることじゃないですか。素通しさせてるんですか。こういう報告を。本来だったら貴重な税金を1円たりとも無駄に使わないようにするためには、報告書の中に領収書を添付してもらるのが普通だと思いますよ。いかがですか。

地域振興課長 情報公開によって入手された書類ということが基本かなと思いますが、情報公開でどこまで請求されたのかということにつきまして、今、判断できませんので、基本的には要求があった書類を提出、交付しているということでごさいますので、領収書等につきましての請求があったかどうかちょっと今、何とも言いようがないんですけども。町といたしましては、結局補助金に対しまして適切な支出がされてるかということのチェックということでごさいます。そちらにつきましては、町も実行委員会のメンバーとして、商工会だけではごさいますので、町自身も商工会それからひょうたん文化さんとかとともに実行委員会として、その実行委員会に加わっているということでごさいますし、その辺の適切な支出につきましては、こちらでもチェックしてるということでごさいます。

以上です。

2 番 地域振興課長は、なかなか地域のことでいろいろ地域の説明会があったりして、土曜日、日曜日そして夜間、いろいろ出してお忙しいとは思いますが、我々が払ってる税金をきちっとやっていただかなきゃいけないわけですよ。恐らくことしの28年も交付金の申請評価シートというのが最後はまとまるんだと思うんですが、その中には地域振興課がコメントを入れるわけですよ。適正に使われたという、その適正に使われたかどうかということを地域振興課にしっかりやっていただかないといけないと思ってるわけですよ。本来ですと、領収書をきちっとつける。今からでも遅くないと思いますので、そういったことをこれから公開できるような形で領収書をきちっと明確にわかるようにしていただきたい。先ほどの会議費についてもそうですね。だから、疑ったら切りがないわけですから、ちょっと時間がなくなってきましたので、町長交際費のほうに移らせてもらいます。

町長交際費、先ほど町長で公表に取り組むと、来年1月分から2月のホームページに記載してというお話です。これ、さかのぼってはできませんでしょうか。例えば、過去何年とか、2年でも3年でもいいですよ。できませんでしょうか。

総務安全課長 ホームページでの公表につきまして、さかのぼりということですが、過去の明細等につきましては、現在精算の交際支出の伝票とともに会計室と保管になっておりますので、それを過去からさかのぼって出して、おまけに個人情報部分を加工したりする、そういう事務の手間がかかりますので、まずは来年1月分の支出から公表という形でやらせていただきたいと思いますと考えております。

以上でございます。

2 番 情報公開で見ますと、大体一月1ページなわけですよ。項目にして、多い月で20項目ぐらい。こんなことですから、そんなにお手数はかからないと思いますので、最低限28年度を公表する。そして、できれば順次さかのぼって、過去2、3年の分も公表していただきたいと思います。

それから、じゃあ先ほど支出の基準ができているということですが、よそですと要綱だとか規則だとかいう形でできてますが、大井町はいかがですか。

総務安全課長 大井町におきましては、平成15年6月から運用しております、大井町町長交際費支出基準に基づきまして、支出を行っておるわけですが、その基準におきましては、支出の趣旨ですとか、支出先、支出区分が明記されておまして、支出額につきましては、社会通念上妥当の範囲で、かつ必要最小限とすると、また改正による懇親会、祝賀会等に

については、会費相当額を支出するとだけ明記されておりまして、具体の金額の基準については明記がない状況でございます。

今後、支出の基準につきましても、町民の方が見てわかりやすいように一定の具体の金額を明記するような形にいたしまして、その辺の改正を検討させていただき、改正後に交際費の支出の一覧とともに公表させていただきたいと考えておるところでございます。

以上でございます。

- 2 番 あと20秒しか時間ありませんけど、とにかく管理、領収書が非常にずさんです。中には上様なんて書いた領収書もありますし、それから上級官庁、県へ梨ですかね、5万9,000円とか6万3,000円、お土産、手土産を持って行っているというのがありますので、そういったことを公表することで、きちっとできると思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

終わります。

- 町 長 上様の領収書があるというようにございますが、宛名書きもなしのものもございます。いろんな会議に行きますと、来客数の多いところは、それぞれの名前を明記されておりません。また、それを私が大井町町長間宮恒行と私の字で書くのもおかしいものでございますし、会費と決まっているものもありますし、通念上のものでございます。交際費というものは、全部領収書をもらってこいと言われるのも非常に難しいところがありますもので、この辺のところは御理解いただきたいと思いますし、その団体がどうかというような判断をしていただければよろしいんじゃないかなと思いますもので、今後、上様、また無記名の領収書を記名してもらってこいと言われるのも、なかなかそういう点では難しいもので、一言据えさせていただきたいと思います。

- 議 長 以上で、2番議員、牧野一仁君の一般質問は終わります。